

ご入学・進級おめでとうございます！

皆さん、入学・進級され、新たな気持ちで四月を出発されたことでしょう。本当におめでとうございます。



【桜の秘密】

桜の「さくら」は、本来「さ」と「くら」に別けることができます。

「さ」の古語は、農耕や神性をあらわす言葉です。「五月(さつき) 稲を植える月」「五月雨(さみだれ) 田植えに必要な雨」「早苗(さなえ) 田に植える苗」「早乙女(さおとめ) 田植えをする女性」「早苗饗(さなぶり) 田植えを終えたお祝いの祭り」などなど。「くら」とは、「神座(かみくら) 神様の座られる座」「磐座(いわくら) 神様がお降りになる岩の場所」「さ」「+」「くら」で「さくら」なので、桜の木は、「稲の神様が座られる場所」ということです。桜の満開の様子を見ていると、その年の稲の出来具合を予測したと言われます。桜の生命力を享受するという自然信仰がお花見の由来だとも言われます。天孫瓊杵尊の妻の木花咲耶姫は、桜の花の女神で「さくら」の語源であるという話もあります。

【神武天皇祭】四月三日

初代天皇、神武天皇が崩御されて、今年で二六〇一年になります。



神武天皇は、風の便りに東の地方で争いごとが絶えず、人々が苦しんで生活しているということ

を知られ、それで、争いを鎮め人々が平和に暮らせるよう、荒れている地方を治めるために日向を出発されました。わしの方が強い、わしの方が強いと争っていた心の荒れた男たちは、神武天皇に立ち向かっていきました。神武天皇が、日の光を背にして進まれている時、天から金色のとびが飛んできて、天皇様の弓の端にとまり光り輝いたので、男たちはあまりのまぶしさに畏れおののき、殺し合いをしな

いで、刃に血ぬらずして降参してしまつたのです。神武天皇が日の光を背にして進んでいかれたのはどうということかとというと、万物の生命を育む太陽にたとえられる日の大神(天照大神)の「全ての人が平和に仲良く助け合つて生きる」という御心を背負つて、御心を聞きながら私心を捨てて進んでおられたということ。それで心の荒れた男たちは、その尊さを知り、自分たちのあやまりに気づき、殺し合いせず降参したのです。

神武天皇が、橿原の地で日本の初代天皇としての位につかれたのは二月十一日。その時、日本国は、天照大神からいただいた国なので、その徳に応え、正しさを養う心をひろめ、そのちに世界が大家族のように仲良くしていこうという理想を述べられました。四月三日は、お亡くなりになった日です。

【昭和の日】昭和天皇誕生日 四月二十九日

昭和の日は、激動の日々を経て復興をとげた昭和の時代をかえりみ、国の将来に思いをいたす日。もともとは、昭和天皇のお誕生日でした。

昭和天皇は、「無私」と「慈愛」の人として語り継がれています。その中でも、敗戦後のマッカーサー

との会見の話は、特に有名です。大東亜戦争(太平洋戦争)で、日本はアメリカに負けました。これまでの世界の戦争では、負けた国の最高責任者は命乞いをするのが普通でした。ところが、昭和天皇は「私の命はどうなつてもいいからどうか日本の国民を助けて下さい」とご自分の命を投げ打つて、日本国民を守ろうとされました。マッカーサーは、大変感動しました。昭和天皇のおかげで、日本の国はなくならずに守られました。

子育てワンポイントアドバイス

「良い子とは、幸せな子・運のよい子」

子育てをしている時に、良い子とは、幸せな子運の良い子、と聞いてびっくりしたことがあります。それまで私にとっての良い子は、私にとって都合の良い子。お行儀が良く、成績が優秀で、人からほめてもらえる形の良い子でした。

- ① 認められたい
② 愛されたい
③ ほめられたい
④ お役に立ちたい
⑤ 自由でありたい



何か子供に気になる事があつた時、この五つの願いが満たされていないのではと思つて子供を観る事で親として何をしてあげたらいいのか気づかされるのではないのでしょうか。(甲斐 敬子)

和歌コーナー



おじぞうさん みんなでかいたよ いろんなかお
かいたらちよつと おもしろかったよ

年中 K・S

☆しようへいくん、とつてもすてきなおじぞうさ
まをかきましたね。びつくりしましたよ。

おじぞうさん おもしろかったよ いろんなかおだ
わらっているかおに したんだよ

年中 H・H

☆みんなちがうかおになって、おもしろいですね。
やさしいおじぞうさまがかけましたね。

さくらははな いっぱいさいた うれしいな

さくらははなは きれいだな

二年 H・A

☆彰紀君のおうちの庭にある桜の木は、さくらん
ぼの木なので、花が早く咲くそうです。すごいね。

もうはるだ きれいなつぼみ さくのかな

だれがいちばん うつくしいかな

小学三年 Y・Y

☆春になり、いろんな花が咲きほこっていますね。
どの花も比べられない美しさがあ、感心してしま
いますね。

学校で 卒業式を やったんだ

せなかがいたくて 大変だった



☆在校生代表で五年生が卒業式に出て、卒業生を良
い姿勢で送ったのですね。厳肅な式の様子が浮かん
できます。

小学五年 T・I

四月一日 「知つたよる京都歴史探訪」

十人で、行ってきました!

京都の小路には、歴史の遺蹟がいっぱいあ
ることがわかり、びつくりしました。高橋

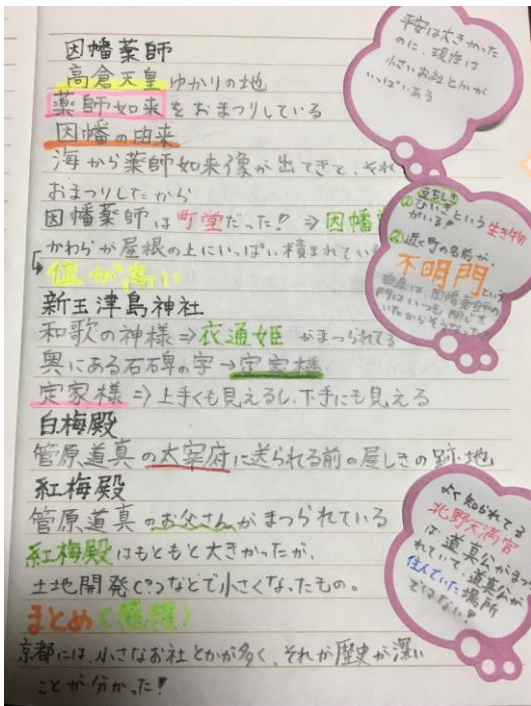
朋美ちゃんがお母さんと一緒に参加して
くれました。歴史が大好きな朋美ちゃん
は、井上雅夫先生のお話をいっぱいメモ
し、なんと、ノートにまとめてくれました。

大人顔負け! 次回は七月一日(日)です。

十時半阪急烏丸駅西改札口集合



おもしろかったよ!



今月の論語

子、曰わく、

「故きを温ねて

新しきを知れば

以って師と為るべし。」

孔子先生がおっしゃった。

「昔の人の教えや過去のことに ついて
学習し、そこから新しい考え方や取り組
み方を見つけれれば、人を教える
先生となることができる。」

昔のできごとや、昔の人の考え方をよ
く学びましょう。それを 毎日の過ご
し方に役立てましょう。昔と今、古い
ものと新しいもの、それぞれによい所
がありますね。よい先生とは、その両
方がよくわかつている人をいいます。

親子で楽しむ こども論語塾(明治書院)より

次回寺子屋は 五月十四日(日)です。

西宮市立中央公民館 402室

※「生命の教育講演会」五月二十七日(土)

「子供に伝えたい日本の心」中央公民館 601室

◎ぜひ、ご参加下さいませ。(文責・藤波)